

## 社 報



## 金ある者も金のない者に負ける

## 新人の季節

4月になれば、入学式・入社式が良く話題に昇ります。就職難と言われる時代、就職すること自体が難関となるなど、時代も変わったものです。当社にも、毎年新入社員が入ってきてきましたが、今年是不景気の影響を受け、仕事も十分にない中で、新入社員を取る状況ではありませんでした。業況が良くならない限り、新入社員を取れませんが、次の時代をどう創るのか、非常に難しい状況になりました。



先々月の社報で、「金のない者は金のある者に負ける」というタイトルで文章を書きました。

そして今月はその逆で、「金ある者も金のない者に負ける」と、まったく逆なようなことを言っています。

同じことを言い方を変えているだけのことなのですが、言葉から受ける印象はずいぶんと異なります。

「金のない者は、金のある者に負ける。」と言うのは、その他の条件がすべて同じであればということでした。そして、「人生お金がすべてではない、お金が無くても、まあええかあ。」と言う人は成功しないとも言いました。

お金のない者は、お金を得る必要があれば、そこは努力してお金を手にいれなければなりません。今は、お金が無くても、将来は成功しようという強い姿勢があれば、人は知識を得ようと・知恵を絞る・工夫をするでしょう。長い人生の中で、いつかは成し遂げようとするれば、時間も気にせず働くこともあるでしょう。

一方、お金を持った成功者は、成功の成果として、贅沢をしたり、努力を怠ったりします。

そうすると、誰もがわかるように、この両者は接近するのです。

毎日・毎週・毎月・毎年と、その差が縮み始めたら、あつと言う間に逆転してしまいます。

童話の「うさぎとかめ」の話など、この手の話はいくらでもあります。大昔から、成功のあぐらの上に繁栄がないことは、手を替え・品を替え、あるゆる場面で教え続けられました。しかし人間は、それでも成功のあぐらの上に安住を求めてしまうのです。おそらく頭では理解ができて、一度、手に入れた栄光の中に、ずっと身を置いていたいのです。

周囲の人々から得た評価を失いたくなければ、栄光の光の中にあっても、その舞台裏ですべきことをきちんとしなければなりません。そこは自身が自分の評価をしないと、周囲のチャホヤに酔ってしまいかねません。

今月、プロ野球で阪神の金本選手が、連続フルイニング出場の記録を自ら断ちました。自身への評価がきちんと出来、判断が出来たことは素晴らしいかと思えます。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になります。

## 今月も交通事故発生！

3月24日(水) 午後4:00頃  
六甲山を降りようとして、山道を下っていたところ、雨で路面が濡れていたため、スリップし反対車線のガードレールに衝突した。もの。  
運転者: 上甲泰久さん  
被災者: なし

山道はカーブが連続していますし、下り坂はスピードが出やすいです。

その上、雨で路面が濡れていれば、スリップすることは十分に予想されるので、慎重にも慎重な運転をしなければなりません。

反対車線から大きな車でも上ってきていたら、悲惨な大事故にもつながりかねません。

ケガがなかったことを幸いにして、これからは安全運転をお願いします。「ご安全に！」

## 2010年 安全成績

■ 現場災害 H22.1.1-H22.4.19	
休業災害	----- 1
不休災害	----- 0
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 2
■ 交通災害 H22.1.1-H22.4.19	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 1
合計	----- 1